

まなびの森



廿日市市立吉和小・中学校 校長通信

【第1号】R3. 4.26

校長 戸崎志乃婦

自分で考え 話し合い

実行することから…

新しい学年がスタートする4月。始業式と入学式で児童・生徒に伝えたことは「自分で考えて、仲間と話し合い、実行していきましょう。」ということでした。

【自分で考え】



授業における課題解決の方法として自分自身の考えをもつ、書く、話すことはもちろんのこと、学級での係活動の工夫、学校行事についての協議や組立、生徒会活動の企画・運営、クラブ活動での練習方法…自分の生活の中に、自分自身の思いを乗せて、自分なりの工夫をして取り組めることはたくさんあります。



【仲間と話し合い】

学校生活のあらゆる場面で、小さな話し合いから大々的な協議まで様々な形態があります。そこには自分自身の考え、アイデアをもって臨んでほしいと思いますし、相手が出してきた意見も大切に聴いてほしいと思います。その中から自分に

とっても仲間にとっても学校にとっても一番いいことを話し合いながら、決めていきます。

【実行すること】

そして最も大切なことは、実行していくことです。話し合った結果、最善だと思って行っても、実際にやってみるとうまくいかないこともあります。しかし、それはやってみたからこそ得られた成果ととらえます。この方法がうまくいかなか

たのは、何が原因か、改善策は、別の視点から見直してみる。そして、もう一度自分で考え、みんなで話し合い、再度実行していきます。その繰り返しのなかから、あきらめない心が育ち、仲間のありがたさが身に沁み、何かの役に立てる喜びを味わっていくのだと思います。このことは、私達大人の仕事や生活の中でも、実際に毎日行っていることで、吉和小・中学校の職員室、PTA活動、地域における各種団体の協議会においても行われています。大人になったときにも、自己実現のためや地域の暮らしをよりよくするために、できることを一生懸命「考え、話し合い、実行する」ことを、小中学生のうちからしっかりと身に付けさせたいと思っています。



吉和小・中学校は平成21年度から、施設一体型の小中連携教育がスタートしており、小学校1年生から中学校3年生までの異学年交流が日常的にできる学校です。同学年同士、複式の授業、小学生が中学校の先生から学ぶ授業、全校児童生徒での学校行事、給食配食、縦割り掃除等はもちろん、



地域の方、企業、他の学校の児童生徒との交流等を含め、幅広い学校教育活動の中で「自分で考え、話し合い、実行していく」ことを進めていきます。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。